



残暑対策もしっかり行いましょう



9月も終盤となり暑さも落ち着いてきましたが、記録的猛暑となった今夏の影響が、**食欲不振、乳量の低下、受胎率の低下**など家畜の体調に現れてくるのが考えられます。残暑対策もしっかり行い、家畜が快適に過ごせる環境づくりを心がけましょう。

畜舎環境への対策

- ・朝昼夕の気温や湿度を点検する。
- ・こまめに遮光、換気、散水を行う。



扇風機による送風



屋根への散水

飼養管理への対策

- ・密飼いを避ける。
- ・飼料の給与回数を増やす。涼しい時間帯に給与する。
- ・消化率の高い飼料を与える。
- ・新鮮で冷たい水が十分に飲めるようにする。
- ・ビタミン・ミネラルを給与して栄養不足を補う。



鉱塩によるミネラル補給



細霧装置の利用



新鮮な水の給与

以下の症状がみられた場合、**早めに獣医師による治療を受けましょう。**

- 食欲不振
- 開口呼吸
- 目や陰部等の粘膜の充血
- 呼吸促迫
- 脱水症状

また、万が一被害が出た際は、家畜保健衛生所に速やかにご連絡ください。

青森家畜保健衛生所

電話：017-764-1744 夜間・休日：090-2274-0474